

～家計調査から見える 那覇市の食卓～ 《第1弾》

総務省統計局より、家計調査の1世帯当たり品目別年間支出額及び購入数量(二人以上の世帯)のデータから、どのような品目でどの程度の地域差があるのかを明らかにするため、2013～2015年平均の品目別ランキングが発表されました

その結果を見てみると、那覇市の全国での品目毎のおもしろいランキングが見えてきましたので、少しだけ、ユニークな那覇市の食卓情景を覗いてみましょう。(支出金額、購入数量のどちらか上位で比較しました。)

穀類

品目、品名	全国	那覇市	順位
中華めん(沖縄そば)	8,791g	10,641g	3
米	25,394円	30,299円	4



やはり「沖縄そば」は強いですね。ウチナーグチでは“すば”。トッピングに三枚肉やソーキ骨をのせると、食卓が華やぎます。

「米」が上位にきているのは意外や意外。食卓にでるご飯以外にも贈答用に購入されているのではないのでしょうか。

魚介類

品目、品名	全国	那覇市	順位
かつお節・削り節	961円	3,651円	1
かつお節・削り節	285g	1,781g	1
魚介の缶詰(シーチキン)	2,457円	5,975円	1
まぐろ	2,288g	3,259g	7



なんと、かつお節の支出金額が全国平均の約4倍、購入数量が6倍強という圧倒的な第1位。

琉球薬膳として琉球王朝時代から親しまれてきた「かつおだし」は、今も庶民の食卓に「そばだし」や「かちゅーじる(湯)」として活かされているのですね。

チャンプルーに使われる「シーチキン」も支出金額がやはり第1位。その原料となる「まぐろ」は購入数量で第7位。

沖縄県の生鮮マグロの漁獲量は全国3位ということなのでこれは当然か。夕食時に夫婦仲良く泡盛を飲みながらマグロ刺身で“乾杯”しているんでしょうね。



「加工肉」のベーコンの購入数量が意外と第1位。朝食はベーコンエッグで手軽に済ませているのでしょうか。そうめんチャンプルーにベーコンを加えてもおいしいですよ。

「他の加工肉」のコンビーフ、ポークも堂々の1位。それも全国平均の2倍以上の支出金額です。チャンプルーにもよし、おにぎりにもよし、手軽な食卓の定番ですね。食卓には、毎日チャンプルーが出るのでは？中味(他の生鮮肉)も3位と健闘です。

今夜の夕食は、チャンプルーと中味汁に決まりだね。

肉類

品目、品名	全国	那覇市	順位
ベーコン	1,478g	2,117g	1
他の加工肉(コンビーフ)(ポーク缶)	2,265円	5,487円	1
他の生鮮肉(もつ・中味)	1,547g	2,802g	3



家計調査の結果から見える那覇市の食卓情景は、どうでしたか？

那覇市以外の家庭でも同じような食卓でしょうか？

今回だけでは伝えきれなかった品目もありますので、第2弾として生鮮野菜などを掲載しますのでご期待ください。